

平成21年度

しまねの放課後子どもプラン連携事例集



子どもたちの心安らぐ
放課後や休日のために

島根県教育委員会
島根県健康福祉部

はじめに

平成 19 年度から国の放課後子どもプラン推進事業がスタートし、本県においても「島根県の放課後子どもプラン基本方針～子どもたちの心安らぐ放課後や休日のために～」を策定し、その推進を図っています。

県内の各市町村においては、留守家庭の児童に対し毎日の生活の場を提供する「放課後児童クラブ」や地域の大人たちが異年齢の子どもたちに交流・体験の場を提供する「放課後子ども教室」の開設をはじめ、放課後の子どもたちを対象とした様々な取組が、地域の実情に応じて、相互に連携協力しながら総合的・体系的に推進されています。

このたび、このような様々な取組をまとめ、広く紹介するために本連携事例集を作成いたしました。

今後とも、各地域の取組を参考に、「放課後子どもプラン」の更なる推進並びに一層の活動内容の充実のために御活用いただければ幸いに存じます。

末筆ですが、本連携事例集の作成にあたりまして、関係者の皆様方の多大な御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げる次第です。

島根県教育庁社会教育課
島根県健康福祉部青少年家庭課

目次

はじめに	1
------	---

学校と連携した取組

奥出雲町	三成小学校放課後子ども教室（放課後子ども教室）	3
津和野町	日原ひまわりくらぶ（放課後児童クラブ）	4

学校・保護者と連携した取組

松江市	しまね放課後子ども広場（放課後子ども教室）	5
-----	-----------------------	---

子ども教室と児童クラブと連携した取組

東出雲町	意東放課後子ども教室（放課後子ども教室）・意東放課後児童クラブ（放課後児童クラブ）	6
出雲市	はすだっ子子ども教室（放課後子ども教室）・平田コスモス児童クラブ（放課後児童クラブ）	7
益田市	西益田ボランティアハウス（放課後子ども教室）・わくわくクラブ（放課後児童クラブ）	8

公民館等、関係機関と連携した取組

雲南市	日登っ子のびのび教室（放課後子ども教室）	9
飯南町	頓原放課後こども教室「たんぽぽ畑」（放課後子ども教室）	10
斐川町	斐川の居場所「伊波野公民館」（放課後子ども教室）	11
浜田市	雲城地区児童クラブ（放課後児童クラブ）	12
大田市	大田小学校放課後子どもプラン「大田わんぱく遊び隊」	13
邑南町	矢上地区児童クラブ（放課後児童クラブ）	14
吉賀町	柿木放課後児童クラブ（放課後児童クラブ）	15
海士町	海士町子どもダッシュ村（放課後子ども教室）	16
隠岐の島町	遊びと学びの広場（放課後子ども教室）	17

その他、地域の実情や特色を生かした連携の取組

安来市	島田わんぱくクラブ	18
江津市	集いの家（放課後子ども教室）	19

三成小学校放課後子ども教室【奥出雲町】

(放課後子ども教室)

～基礎学力を育てる～

教室の概要

◇目的・理念

- 家庭の事情で学校に残る児童に、基礎学力を育てる。
- 家庭学習を定着させる。

◇活動概要

- 実施場所 三成小学校ランチルーム
- 開催日 毎週火曜日、木曜日、金曜日
- 参加対象者および参加人数
三成小学校4年以上の児童7名



奥出雲町立三成小学校

特色ある連携の取組内容

- 宿題や読書等、児童が自主的に学習に取り組む。
- 分からないところは、学習支援員に聞くが、できるだけ自分の力で解くようにする。

分からないところは
聞くことができるから
やる気ができるなあ。



学習アドバイザーと仲良く学習中

ようし、
がんばるぞ!

- 教室の運営に関して学習アドバイザーの調整などに学校サイドが主体的に関わることで、学校との連携体制を構築している。

取組を実施して

- 楽しい雰囲気の中で、活動に取り組んでいる。
- 家庭で学習することが苦手な児童も、この活動を通して、少しずつ自分で取り組むようになった。

日原ひまわりくらぶ【津和野町】

(放課後児童クラブ)

～学校とコミュニケーションをとり一緒に子どもを育む～

クラブの概要

◇目的・理念

- 児童の安全確保、児童の情緒の安定をはかる。
- クラブでの遊びを通して自主性、社会性、創造性の向上をはかる。
- 児童の活動について家庭と連携し状況の把握を行う。
- その他にも児童の健全育成上必要な活動を行う。

◇活動概要

- 実施場所 日原小学校の空き教室
- 開催日 月～金 授業終了～18:00 土曜日・長期休業 8:30～18:00
- 参加対象者および参加人数 日原小学校 1～3年生 参加人数 15人



ひまわりくらぶがある日原小学校

特色ある連携の取組内容

●職員室とひまわりくらぶの位置関係

日原小学校の職員室と校長室、ひまわりくらぶは校舎の1階にある。校舎の内側からくらぶに入室することはできないが、グラウンド側のテラスからは自由に行き来できる環境にある。

●学校とくらぶの連携体制

年度当初の顔合わせ会

- ・自己紹介
- ・ひまわりくらぶの運営について共通認識を図る
- ・ひまわりくらぶに通う児童に関する情報交換を行う。

日常的な情報交換

- ・必要なお互いにお互いに声掛けをして情報交換をする。教頭先生が窓口となり、気楽に相談できる体制ができていますので、他の先生方とも自然に話ができる。

学校の施設・備品等の開放

- ・学校の遊具・備品が利用できる。
- ・雨天時に体育館が利用できる。(小学校が使用中は不可)

教職員の放課後の児童への目配り・声掛け

- ・学校で体調のすぐれなかった児童について、知らせていただける。
- ・校長先生や教職員は時間があれば児童と遊んでいただける。



クラブに隣接する校長室・職員室



学校の一輪車で遊ぶ子どもたち

取組を実施して

●顔合わせ会をすることにより

同じ敷地・校舎内で、いっしょに児童を育む仲間としての役割・意識を共有することができた。また、この会をきっかけに、学校の指導員との距離感が縮まり、日常的な関わりが自然に行われるようになった。

※クラブ指導員の声

学校の先生方の理解があるので、安心して活動をすることができる。施設・備品等も利用できるのも非常に助かる。特に運動場が使えない日の体育館使用は嬉しい。

※学校の声

ひまわりくらぶで放課後に活動する児童の姿を知ることでもでき、児童の多面的な理解ができる。定期的な情報交換の会は特にないが日頃から気軽に話ができるので十分である。むしろその方が、児童の状態も把握できうれしい。

しまね放課後子ども広場【松江市】

(放課後子ども教室)

～学校との連携と保護者の意識～

教室の概要

◇目的・理念

- 子どもが人との関わりの中で自他を大切にして進んで活動する態度を育成する。
- 子どもたちの育ち環境（場・人間交流の機会）を提供する大人や地域の体制をつくる。

◇活動概要

- 実施場所 島根小学校（のびのびホール、いこいルーム、体育館、校庭）
- 開催日 毎週月曜日 15:30～17:00
- 参加対象者および参加人数 島根小学校1～6年71名（登録数）



特色ある連携の取組内容

- 学校の要請により12月の個人懇談の4日間、バスの出発時刻までの約4時間放課後子ども教室を開設する。
- 普段の自由活動の他に、地域の方に協力をいただき、しめ縄作りなど特別なブースを設ける。
- 個人懇談終了後、保護者に自由に子ども広場を見学してもらい、子どもたちの放課後の過ごし方、子ども広場の運営に意識が向くようにする。

- 4日間の参加人数は以下の通り。

・12/7(月) 57名 ・12/8(火) 59名
・12/9(水) 50名 ・12/10(木) 55名

●平成20年度から授業公開日などを利用し、保護者・地域に子ども広場についての説明会を数回行った。その上で通常活動的なものやイベント的なものの試行開設を平成21年度の5・6月に7回おこない、地域に子ども教室が必要であるという共通理解の上で子ども教室を平成21年9月に開設した。運営委員会委員長に小学校PTA会長、また運営委員に地域の幼稚園、保育所のPTAの役員の方にも入っていただき、長いスパンで子どもたちの放課後について考えたり、子ども広場についての理解を深めたりできるような基盤作りをおこなっている。



しめ縄作りの様子



自由活動の様子

取組を実施して

- 子ども達の放課後の過ごし方について、学校側の必要感から4日間連続で開設する運びとなった。これを機に、学校側との連携がより深まり、互いに信頼関係を築いて活動できるようになった。
- 保護者の方にも見学しやすい日程及び時間設定をしたことで、懇談終了後多くの保護者が見学に訪れた。また、子ども達の姿や活動の様子を実際に見学して頂き、子ども広場に対する啓発の契機となった。
- 子ども広場が地域の方の手によって運営されていることを、学校や保護者が知ることができた。特に、保護者と安全管理員さんとのつながりが生まれたことは、今後の活動の発展や子ども理解、地域の教育力の向上に大きく寄与すると思われる。

意東放課後子ども教室・意東放課後児童クラブ【東出雲町】

(放課後子ども教室)

(放課後児童クラブ)

～子ども教室の開設を通じた学校・地域・行政の連携～

教室の概要

◇目的・理念

●子どもたちが主体的に群れ遊ぶことができる場を提供するとともに、学校・保護者を含めた地域で子どもを育てていくという機運を高める。

◇活動概要 (平成 20 年 9 月開設)

- 実施場所：意東小学校講堂・校庭
- 開催日：月 終礼後～17:00 (学校が休みの日を除く)
- 参加対象者および参加人数：意東小学校 1～6 年 38 名

クラブの概要

◇目的・理念

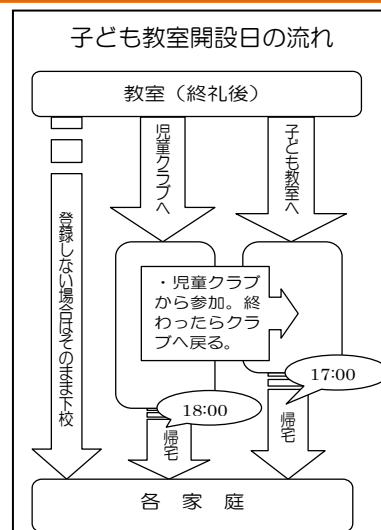
●保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に通う子どもたちに遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図る。

◇活動概要 (平成 14 年 4 月開設)

- 実施場所：意東小学校内指定教室・校庭
- 開催日：月～金 終礼後～18:00 (延長～19:00)
土・長期休業中 8:30～18:00 (延長～19:00)
- 参加対象者および参加人数：意東小学校 1～3 年 26 名

特色ある連携の取組内容

- 比較的小規模校であるので、子ども教室開設時から児童クラブとの連携モデルとして下記のような手順で準備を進めた。
 - 児童クラブ運営委員会で子ども教室について説明
 - 小学校保護者全員を対象にした子ども教室開設に関わる意向調査の実施
 - 公民館、小学校で子ども教室開設について説明・意見交換
 - 開設準備会の開催 (学校、P T A、公民館、児童クラブ、子ども教室関係者)
 - 近隣の子どもの教室の視察、クラブ指導員・教室安全管理員打合せの実施
 - 参加者アンケートの実施、子ども教室運営委員会の開催 (年度末)
- 子ども教室の安全管理員 (「おやじの会」の会員等 15 名が 5 名ずつの 3 班編) が、児童クラブの指導員と連絡を密にしながら児童を見守っている。
- 実施場所が限られているが、施設使用については、学校との連携・協力のもと、特別教室を借りるなど、柔軟に対応している。



活動内容

- 地域の大人に見守られながら、子ども達が自主的に活動する。
- 自由遊びを中心に、可能な範囲でスポーツ、文化活動、学習などをする。



大人数で思い切り遊びます！



たくさんの人と触れ合います！

取組を実施して

- 町内初めての子どもの教室開設であったため、教育委員会が中心となって連絡調整に努め、学校・P T A・児童クラブ・公民館・地域が連携しながら取組を始めることができた。
- 子どもの教室開設日には、見守る大人の数も増え、児童クラブの児童も広い場所・大人数で思い切り遊ぶことができた。また、異学年児童の交流や地域の大人との触れ合いの場となった。
- 安全管理員の確保等は、公民館を中心に地域にお願いすることができた。今後、更に保護者や地域の他団体との協力体制をどのようにしていくかが課題となっている。
- 他の小学校区でも子どもの教室の開設を予定している。これをモデルとしながら、各地域の実態に合わせた形での取組を考えていきたい。

はすだっ子子ども教室・平田コスモス児童クラブ【出雲市】

(放課後子ども教室)

(放課後児童クラブ)

～ 地域の子どもは地域で育てる ～

教室・クラブの概要

◇目的・理念 ●生活環境の変化により、子どもたちは学年の違う子どもたちと一緒に遊んだり、地域の人々と接する機会が少なくなっています。この教室では「安心して安全に集える居場所づくり」をめざし、地域の方々の協力を得て、子どもたちが将来自立できるよう長期的視点に立ち、活動の中で社会のルールを身につけてくれるよう願っています。



◇活動概要	はすだっ子子ども教室	平田コスモス児童クラブ
実施場所	小学校図書室・コミュニティセンターほか	平田小学校・市立体育館
開催日	月曜日・土曜日・夏季休業中(全89日)	平日・土曜日・長期休業中(全289日)
参加対象者・人数	平田小学校1～6年生の希望者(平均50人/回)	平田小学校1～概ね3年生(約40人)

特色ある連携の取組内容

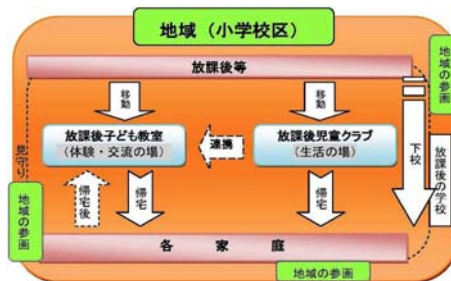
●平田地域には子ども教室の他に平田コスモス児童クラブがあり、約40人が登録している。児童クラブでの課題は、特に土曜日や夏季休業中の長時間預かる際に、少数の大人(専任指導員)で対応すること、低学年の子どもたちだけで固定化していること等で活動内容に苦慮している場面が多くあった。そこで、児童クラブにおいても異なる年齢集団の多様な活動を体験させたいと考え、子ども教室の活動への参加を積極的に声かけし、定着させてきた。

●原則的には児童クラブから専任指導員が引率をして、子ども教室に移動し、子ども教室と合流して活動に参加し、子ども教室の活動が終了すると児童クラブへ、また引率して帰っていくことにしている(年間約60回 土曜日・夏季休業中)。

●子ども教室、児童クラブと連携することで高学年の子どもと混じり合っ活動ができる。またコミュニティセンター、地域の各種団体と連携することで、子ども教室や児童クラブではなかなかできないダイナミックな企画が出来る。

【はすだっ子子ども教室の特別な活動の一例】

月	日	活動内容	月	日	活動内容
4	18	ふるさと平田再発見「写真・絵画」教室	11	7	CO ₂ バスケット
5	23	親子サイクリング(土手滑り)	12	28	防災訓練教室
	30	さつま芋の苗植え		5	そば打ち体験・環境教室
6	6	ちまきづくり	1	12	クリスマス会
	20	蕎麦打ち体験・料理を作ろう		19	ミニ門松づくり
7	4	そうめん流し	2	9	書き初め練習会
	11	七夕仮装船飾り		16	餅つき大会
8	22	コミセン夏祭り(お化け屋敷)	3	23	正月遊び(凧作り)
9	12	交流グランドゴルフ大会		13	凧あげ
	10	3	芋掘り	13	6
31		収穫祭(お芋パーティー)	13		グライダー作り・歴史探訪



●組織的には、平田小学校地域学校運営理事会(コミュニティスクール)で子ども教室の活動内容の検討・承認や児童クラブの諸問題について関わり連携・協力している。



さつま芋の苗植え

取組を実施して



CO₂バスケットで地球温暖化の勉強

- 保護者の声として、「土曜日にコミュニティセンターに行くのを楽しみにしているようです」。スタッフの声として、「子どもの声がよく聞こえ、活気が出ました」。
- 今年度は、新たに環境省の教育プログラム(CO₂バスケット等)を活用したり、福祉ボランティアと一緒に防災訓練など多様なプログラムを工夫・実施し、楽しむだけでなく学べる取り組みを行った。
- 課題として、スタッフの安定的な確保が難しい。

西益田ボランティアハウス・わくわくクラブ【益田市】

(放課後子ども教室)

(放課後児童クラブ)

～地域みんなでつろうて子育て～

教室・クラブの概要

◇目的・理念

- 「地域みんなでつろうて子育て」を合言葉に健やかで心豊かな西益田っ子を地域ぐるみで育む。
- 子ども教室と児童クラブが連携することで、放課後や休日のより充実した子育て環境を構築する。
- 公民館を核として、子ども教室と児童クラブを中心に学校・家庭・地域の連携を促進し、地域力の向上を図る。



◇活動概要	西益田ボランティアハウス	わくわくクラブ
実施場所	西益田小学校余裕教室・公民館	西益田小学校余裕教室
開催日	平日：第1・2・3火曜日 14:30～16:30 土日：長期休 9:00～11:00	授業日 13:00～18:00 土曜日 8:30～18:00 長期休 8:00～18:00
参加対象者・人数	西益田小学校全学年 参加人数 36名	西益田小学校1年～3年生 在籍人数 26名

特色ある連携の取組内容

☆現在の状況

- 同じ学校内にある放課後児童クラブと連携を図り運営や活動内容を協議しながら、ボランティアハウスの開催日にはボランティアハウスに登録している子どもと、放課後児童クラブの子どもが全員参加して活動をおこなっている。放課後児童クラブのケアワーカーさんも子育てパートナーとして活動を支援している。このように連携して活動をおこなうことでより大きい遊びの仲間づくりができ人間関係が深まり、地域の大人との関わりにより多くのことを学ぶことで、子どもにとっては放課後の過ごし方が多様になり放課後児童クラブにとってもメリットがある。

☆活動内容 月3回を基本に開催（H21）

- 第1週目の活動
 - * テーマ遊び…お茶会・絵手紙・七夕飾り・お話し会・凧づくり・豆まき
竹細工・餅つき・木の葉の工作
- 第2週目の活動
 - * 継承活動…百人一首
- 第3週目の活動
 - * 自由遊び…子育てパートナーと一緒にゲームや室内遊び
- 土日・長期休の活動
 - * 川遊び（鮎のつかみどり・昔ながらの釣り）
料理教室等
- その他
 - * 4月歓迎会…お花見遠足
 - * 3月お別れ会…巻き寿司づくり
 - * 鮎の育成施設見学



巻き寿司
出来上がり♡

	参加実績	
	H20	H21
参加児童	784人	765人
子育てパートナー	190人	210人
開設日数	35日	30日

取組を実施して

- 子どもたちの声…友達がたくさんできてうれしい。家では出来ない色々なことが体験できて楽しい。地域の人と知り合いになって、ボランティアハウス以外でも声をかけてくれるのがうれしい。
- 子育てパートナーの声…「地域全体で地域の子どもを守り育てよう」を合言葉に地域が一体となり、子どもと子育てパートナーのふれあいだけでなく、子育てパートナー同士のつながりの幅の広がり、仲間の輪を広げることで他の事業と連携を図りながら充実した活動が実施できる。
- 放課後児童クラブの声…ボランティアハウスとの連携で色々な体験ができ子どもにとって充実した放課後を過ごすことができる。学校や家庭とのつながりを深めボランティアハウスがより充実した居場所になるようにしたい。
- 学校の声…ボランティアハウスで餅つきや豆まき、百人一首など日本の伝統文化に触れる活動をしていただき感謝している。活動に参加している子どもたちは、感情を素直に表現することができ良い居場所だと感じている。

日登っ子のびのび教室【雲南市】

(放課後子ども教室)

～太陽が昇る処“日登地区”の特色を生かした取組～

教室の概要

◇目的・理念

- 日登地区の「人づくり」の礎を築かれた先人（加藤歎一郎氏）の教えに学び、その教えを生かした取組を行うことで、実施に関わる大人・子どもの人間力を育成することを目的とする。

◇活動概要

- 実施場所 日登公民館、寺領小学校
- 開催日 毎週火・金曜日（15:00～17:00）
その他、年間で4日程度、土日又は長期休業中にも開催
- 参加人数 寺領小学校在籍児童65名のうち59名が登録（一日平均50名）



特色ある連携の取組内容

- 日登地区放課後子ども教室実行委員会を組織し、運営を行っている（別表組織図参照）。
- 実行委員会の役割としては、放課後子ども教室のあり方、事業の実施、広報活動、開催時の安全管理、指導員等の人材確保、事業実施後の検証・評価等に関する事項を取り扱っている。
- 会長は互選により決定するが、副会長（2名）については、公民館長と学校長が委嘱され、事務局担当として公民館職員、会計担当として学校事務職員が委嘱されている。
- 公民館のすぐそばに学校があるため迅速且つ臨機応変な連絡調整が可能。
- 学校現場が社会教育事業のあらましを十分に理解した上で児童に指導する体制が出来ている。例えば社会のルールを学んだ児童が放課後の活動に生かすことで規律正しい運営が行われたり、地域の大人から学んだ成果を、家庭で生かすなど、知の循環型地域社会が形成されている地域と言える。
- 登録児童数の約半分に相当する人数のスタッフ体制が整備されている。
- 日々の活動記録を毎日ノートに録り、安全管理員を中心とするスタッフ会議の場ですべて報告されている。スタッフ会議はスタッフ長が定期的に招集するが会長と副会長（公民館長・学校長）も出席し状況を把握している。
- 特設的な活動（盆踊りの伝承、宿泊体験、しめ縄作り、餅つき大会、豆腐づくり）の際には、スタッフだけでなくPTAも協力して実施している。
- 危機管理マニュアルを作成し、事故が発生した場合や不審者対応などの対策として、警察・消防の協力の下、避難訓練なども実施している。

〈日登地区実行委員会組織〉

寺領小学校の校長及び事務職員
寺領小学校PTA会長
寺領小学校評議員1名
日登公民館運営委員会会長
木次町自治会長協議会日登地区各支部長
日登地区民生児童委員1名
木次町主任児童委員1名
各種団体代表者若干名
日登公民館の館長及び主事



取組を実施して

- 子どもたちの声「いつも、のびのび教室で、笑顔で遊んでくださってありがとうございます。おかげでほくも笑って遊ぶことができます（雲南市青少年育成協議会“日本一短い感謝の手紙より”）」
- 保護者の声「宿泊体験では、バーベキューや班ごとの発表など、本当に貴重な経験をさせていただき、スタッフの皆さまにも寝泊りでお世話になり感謝申し上げます。今後もよろしく願い申し上げます。」
- スタッフの声「スタッフもいろいろな方がいる。それぞれが得意としている紙飛行機、竹とんぼ、コマ作り、折り紙、木の実を使ったものづくりといった活動を、もっとプログラムに盛り込んでほしい。」
- 今後の課題
活動プログラムの企画から実施に至るまでの一連の取組に、主体的に保護者が関わっていく環境づくりとその支援

頓原放課後こども教室「たんぽぽ畑」【飯南町】

(放課後子ども教室)

教室の概要

◇目的・理念

- 子どもの居場所づくり
- 子どもの体験活動の推進

◇活動概要

- 実施場所 頓原公民館
- 開催日 月～金 15:30～17:30
- 参加対象者および参加人数 頓原小学校の学区内に在住する小学生
1日平均20名。



【たんぽぽ畑の様子】

特色ある連携の取組内容

- 地域の地区婦人会やJA女性部の協力により、毎月1回のペースで「ちゃぐりんパーク」という料理教室を行っています。協力者は、ボランティアで活動に参加していただき、家庭で、「食」や「料理」に触れる機会の少なくなった子どもたちに「食」や「料理」に関心を持ってもらうために体験活動をしています。
- こども教室の実施場所の近くで行われている「あすなる囲碁クラブ」に参加し、囲碁を通じて地域の方々と交流を図っています。
- 「たんぽぽ畑」の指導員が毎月1回、「工作教室」を実施し、子どもたちとともに物づくりの体験を行っています。
- 子ども教室を実施している頓原公民館に来館される地域の老人の方々に「昔の遊び」を教えてもらい、一緒に遊ぶ活動を随時実施しています。



【たんぽぽ畑 工作教室】



【たんぽぽ畑 ちゃぐりんパーク】

取組を実施して

- 「ちゃぐりんパーク」や頓原公民館を来館される方々と交流することによって、これまでは地域の小学生の顔が分からなかった住民、逆に地域の方々の顔が分からなかった子どもたちもお互い分かるようになりました。地域での子どもたちへの声掛けがスムーズにできるようになり、子どもたちも安心できるようになりました。
- 「たんぽぽ畑」も定着し、地域の方や保護者の方々からもあたたかい言葉をかけていただけるようになりました。その反面、「あるのがあたりまえ」というような意識の保護者の方々もいらっしゃるようになり残念な部分もあります。

斐川の居場所（伊波野公民館）【斐川町】

（放課後子ども教室）

～「何して遊ぶ？」遊びから学ぶいろいろな体験を通してすこやかな成長を～

教室の概要

◇目的・理念

いろいろな遊びを体験し、そこに携わる地域の人たちとの関わりを持つことから、子どもたちに遊びの楽しさだけでなく、お互いを思いやる気持ちや、地域社会と関わりを持つ力を育てていく。

◇活動概要

- 実施場所 伊波野公民館、近郊の山・川・湖・施設
- 開催日 毎月第3土曜日
- 参加対象者および参加人数
地区内の小学生 平均約20名



水辺の生き物調査

特色ある連携の取組内容

- 活動目的が同様である「地区青少年健全育成協議会」の委員を中心に、遊びの内容に応じて、公民館育成クラブの会員・環境美化委員等、連携できるグループがあれば、協力を依頼してともに活動をしてもらい、なるべく多くの地域の大人に子どもたちと関わりを持ってもらうようにしている。

活動予定

原則 毎月第3土曜日
雨天時は、室内でできる遊び（ものづくり等）

- | | |
|-----|----------------|
| 4月 | 竹の子掘り |
| 5月 | 三瓶太平山と青年自然の家 |
| 6月 | 火起こしと五平餅 |
| 7月 | サンレイクでサバニ乗船 |
| 8月 | 親子でホタルウオーク |
| 9月 | 斐伊川で親水体験 |
| 10月 | 船通山登山 公民館文化祭参加 |
| 11月 | 焼き芋づくり |
| 12月 | クリスマス会（ケーキ作り） |
| 1月 | ウオークと土手で段ボール遊び |
| 2月 | グラウンドゴルフ |
| 3月 | 鳶巣城址へ親子登山 |



焼き芋づくり

取組を実施して

●参加者の声

子ども また出たい。

スタッフ 引き続き手伝いたい。

保護者 手伝えることがあれば何でもします。文化祭でカレーライスでも作って売りましょう。

●今後の課題

上下関係の経験が少ないことから、上級生のリーダーシップ・下級生の意識ともに弱く、子どもたち同志の自発的なやりとりが見られるようになるにはもう少し時間がかかると思われる。

雲城地区児童クラブ【浜田市】

(放課後児童クラブ)

～ 雲城公民館と連携した体験活動 ～

クラブの概要

◇概要

- 実施場所： 金城総合運動公園管理棟（雲城小より約 1.1 km 雲城公民館まで約 1.2 km）
- 開設日： 月～金 14:00～18:00 長期休業時 8:15～18:00 ●年間開設日 240 日
- 対象校区： 雲城小学校区 ●登録児童数 26 人

◇児童クラブとしての願い

- 長期休業日や振替休日・土曜日における活動内容の充実を図りたい。
- 子どもに多くの人に出会わせたい。

連携の概要・目的・内容

◇概要

雲城公民館(浜田市金城町下来原:エリア内に小学校1 中学校1 保育園1、1033 世帯、2598 人)は、活動方針の一つに、「公民館が子どもから高齢者まで気軽に心をつなぐ場となるよう努める」をかね、数年前から雲城地区児童クラブと連携し、公民館の主催事業として、年間を通してさまざまな体験活動を計画・実施している。(年間7～8回:主会場は公民館)

◇目的 (公民館側)

- ・異世代交流の推進を図るとともに、保護者世代の大人が公民館に足を運ぶ契機とする。

◇連携事業の内容

●ぞうきん縫い体験(4月) 春休みの活動

地域の高齢者クラブの方(10名)を講師に、一人一人が、新学期に学校に持っていくぞうきんを手縫いする体験を行った。

●料理教室(8月) 夏休みの活動

食生活改善推進委員会・市民福祉課・公民館運営推進委員(約10名)と連携して、「魚(シイラ)」の解体の見学と、料理体験(魚フライ・サラダ作り)を行った。

●その他の主な活動

月	時期	活動名	主な かかわった人
4月	春休み	花見弁当作りと花見(牛舎見学)	食生活改善推進委員・高齢者クラブ
5月・12月	代休日	栽培体験(チューリップ・トマト)	JA 職員
6月	放課後	梅の収穫とシロップ作り	町内会役員・JA 関係者 食生活改善推進委員
8月	夏休み	子ども茶道教室	公民館茶道クラブ
12月	土曜日	クリスマス会	保護者・運営推進委員



クリスマス会(ケーキデコレーション体験)



料理教室

取組を実施して

- 児童クラブにとって、体験活動の幅を広げることになった。
- 子どもたちにとって、多くの大人とかがわることができた。
- 公民館にさまざまな立場の人が集うきっかけとなった。
- 子どもたちのすなおな表情や感想が、大人の活動意欲につながった。

大田小学校放課後子どもプラン「大田わんぱく遊び隊」【大田市】 ～地域住民を巻き込んだ放課後子ども支援の展開～

取組の概要

◇目的・理念

- 社会総がかりで子ども達の育ちを支える気運の醸成と仕組み作りをする。
- 子どもを巻き込んで地域を活性化させ、地域で子ども達を育む気運や土壌を構築する。

◇活動概要

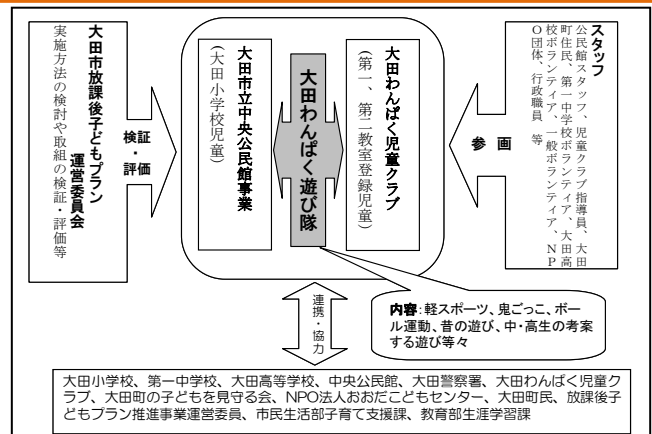
- 実施場所：大田小学校
- 開催日：6月～2月（第2水・第3火、8月を除く）
- 参加対象者および参加人数：大田小学校児童、児童クラブ、中・高校生ボランティア
地域ボランティア～90名（登録数）
- その他：自治会、民生児童委員、大田町の子どもを見守る会



高校生ボランティアによる遊び
(ドッジボール)

特色ある連携の取組内容

- 大田小学校併設の放課後児童クラブ「大田小わんぱく児童クラブ」登録児童1～3年生と、それ以外の大田小1～4年生までの希望児童を対象に、毎月2回、地域ぐるみで放課後の子どもたちの安全で健やかな活動を支えるモデルケースとして開催。
- 大田高校スタッフ、中学生スタッフ、地域ボランティアが大田小学校に集まり、子ども達の遊びを支援する。
- 軽スポーツについては、総合型スポーツクラブ（銀ギン gin スポーツクラブ）指導員、体育指導委員が協力。
- 大田町の子どもを見守る会の人たちが、下校時の子ども達に安全・安心な活動を展開し、協力していただいている。



中学生ボランティア
(キックベースボール)

○戸外活動～軽スポーツ（スナッグゴルフ、ドッジボール、縄跳び運動、キックベースボール、グラウンドゴルフ）

○体育館～レクリエーション、鬼ごっこ、手つなぎ鬼、だるまさんが転んだ、ハンカチ落とし、はないちもんめ、

○室内活動～絵本の読み聞かせ、カルタ、DVDアニメ鑑賞

取組を実施して

- 活動中、小学生に感想を聞いてみると、「とても楽しい。」「中・高生のお兄ちゃんやお姉ちゃんと遊ぶのがすごく楽しい。」と誰もが答えており、放課後に外で集団で遊ぶ活動を体験させることは、小学生に改めて遊ぶ楽しさを体験させ、人と関わる力を身につけさせていくことに効果が上がっている。
- 中学生・高校生ボランティアについて、全員が「楽しい。」「充実している。」と回答している。また「ボランティアをしているというより、自分自身の対人関係能力を磨いていると感じている。」「この経験を生かし、また積極的に地域のボランティア活動に参加したい。」などの感想が聞けた。特に高校生は昨年度8名の登録が、今年は27名と3倍も増えている。小学生と中・高校生というやや斜めの関係でお互い心地の良い時間を過ごしている事がわかった。この点から「ピアサポート」としての効果も上げている。
- 地域でお互い出合った時、小学生と中・高生が手を振り挨拶をかわすなど、人と人とのつながりが出来、地域コミュニティの再構築の力となっている。今後は、もっと多くのつながりを持つため、文化・伝承などを通して三世代交流を行いたい。

矢上地区児童クラブ【邑南町】

(放課後児童クラブ)

～三江線に乗ろう ルールとマナーの体験学習～

クラブの概要

◇クラブの目的・理念

- 子どもの安全を確保する
- 子どもの健康を管理する
- 子どもの児童クラブでの生活の安定に配慮する

◇活動概要

- 実施場所：矢上改善センター 1階
- 開催日：平日の放課後及び長期休業日の日中
- 参加対象者および参加人数：矢上小学校児童1年生から6年生、56名

特色ある連携の取組内容

矢上小学校の振替休日の
対応として隣接する矢上
公民館と連携した事業

学習の目的

- 公共交通機関を利用する上で必要不可欠なマナーを経験の中から学ぶ。
- 貴重な地域素材を利用することで、地域を大切に思う気持ちを育む。

学習内容

- 公共交通機関を利用したマナー講座
- 児童クラブの指導者だけでなく公民館職員及び保護者の協力を得て、子どもたちの見守りを行った。
- マナーの勉強だけでなく、トンネルの数や信号機の数などを数えることで、車窓の景色を楽しみ、地域資源を大切にしたいという思いをもてる内容にした。
- 開催日：平成21年11月24日（火）



電車を待つ時は白線の内側で並んで待ちます



バスは後から乗って前から降ります

取組を実施して

- 汽車に同乗した高齢者に席を譲ることができるなど子どもたちの意識が向上した。
- 公共交通機関を利用したことがない子どもたちが多く、来年以降も同事業を続ける必要性を感じた。
- 「汽車の窓から、江の川がずっと見えるので、魚釣りがしたくなった！立っているとゆらゆらして、車とは全然違う！」という感想もあり、経験の少ない子どもたちの体験活動の役割を果たしたのではないかと。

柿木放課後児童クラブ【吉賀町】

(放課後児童クラブ)

～公民館事業との連携による活動の充実～

クラブの概要

◇目的・理念

- 放課後や休日に、児童が安全かつ楽しく過ごすことができるようにする。
- 児童の健全育成のため、地域の様々な世代の人たちとの交流を促進し、様々な体験活動を推進する。

◇活動概要

- 実施場所 柿木小学校敷地内放課後児童クラブ室
- 開催日 月～金 13:00～18:00 土・長期休業 8:00～18:00 年間 280 日開設
- 参加対象者
柿木小学校の校区内に在住する 1～3 年生 1 日平均 8 人参加



柿木放課後児童クラブ室
(平成 20 年 5 月完成)

特色ある連携の取組内容

●公民館事業とタイアップした取組 (児童クラブ対象の公民館事業)

・「学童キャンプ (8 月)」

公民館を中心に、調理実習や様々な遊びを体験する。
(活動によって地域の方々がボランティアとして参画)

・「クリスマス会 (12 月)」

空き缶魚釣りやビンゴゲーム、ケーキ作りを楽しむ。

・「3 年生を送る会 (3 月)」

1 年を振り返り、学童を巣立つ 3 年生を気持ちよく送る。

●連携にいたるまでの経緯

- ・児童クラブ指導員と公民館長とのつながりから、児童クラブの子どもを対象にした公民館活動の実施に至った。
- ・公民館が全面的に協力し、長期休業中に、児童クラブの多様な活動の場を提供している。



【クリスマス会】

おいしいケーキができますように！

【取組事例：学童キャンプ】

○児童クラブ指導員と公民館主事により事業検討

○公民館により関係団体等と連絡調整・活動準備

～活動内容～

- | | |
|------------|--|
| 1. はじめの会 | 6. グラウンドゴルフ |
| 2. 学習タイム | 7. スイカ割り |
| 3. 牛乳パック工作 | 8. おわりの会 |
| 4. 雑学クイズ大会 | * 社会福祉協議会、グラウンドゴルフ協会、児童クラブ指導員、公民館職員による活動支援 |
| 5. 昼食 | |



【学童キャンプ】

みんなで食べる昼食はおいしい！

取組を実施して

●参加者の声

- ・クリスマスケーキもおいしかったし、一日とても楽しかった。来年はどんな活動があるのかすごく楽しみ。(子ども)
- ・児童クラブだけではできないことなどもできて、とても助かった。(児童クラブ指導員)

●取組を通じた成果

- ・いつもとは違った環境で変化に富んだ活動ができたことで、子どもたちはいつも以上に意欲的に活動に取り組んだ。
- ・子どもたちと地域の方が関わり合いながら、多様な体験をすることができた。

●今後の課題

- ・公民館だけでなく、地域の自然の中などにおいても様々な体験をさせたい。
- ・保護者の参加を促し、家庭・地域との連携を強化していきたい。

海士町子どもダッシュ村【海士町】

(放課後子ども教室)

教室の概要

◇目的・理念

- 自然体験を通して四季を感じ、様々な体験の中から「ふるさと海士」を愛する心と誇りに思う気持ちを育成する。

◇活動概要

- 実施場所：海士町中央公民館および現地
- 開催日：土曜日 9：00～12：00（内容により変わる場合あり）
- 参加対象者および参加人数：町内外の小学生 1回平均10～30名参加
- その他：



特色ある連携の取組内容

●海士町子どもダッシュ村は、中央公民館を拠点に活動しているが、分館である町内14地区の公民館と連携・協力し、子ども達が各地区の住民と交流を通して、ふるさとに愛着が持てる心を育成することを目的とした取り組みを行っている。

●もちつき大会では多井地区公民館の方々にご協力いただき、子どもから高齢者まで一緒になって取り組んだ。多井地区は高齢化率が70%以上と極端な少子高齢化が進み、「地区の中で子供の声がない寂しい」という地区住民の声もあった。子どもたちもまた普段訪れることの少ない地区になっており、これを機会に世代間の交流を図りながら、ふるさとを見つめる気持ちが醸成される事をねらいとした。もち米は、地区の田植え名人に習い、自分達で春に植え、秋に収穫したものを使用した。実施にあたり、地区公民館長と事務局が数回にわたって当日の進行などについて計画を練る機会を設けた。

●すず作り・海苔作りでは豊田地区に出かけた。豊田地区もまた小学生以下の子どもがいない地区で、交流と地区の活性化のために今回の取り組みとなった。すずとは海苔を漉すための簾のことで、紙すきのように海苔を広げて天日で干すための道具である。事務局は事前に地区の方とすず作りの練習を行い、子供のサポートができる体制を整えた。当日は4名の講師を招き、子どもたちは講師に作業を手伝ってもらったり、講師が作っている様子を見たりしながら熱心に取り組んだ。海苔作りの後、岩のりおにぎりを作ったことで、海苔はこうして自分たちが食べる形になるのだと実感できる、体験活動となった。

5月：田んぼで遊ぼう・田植え	10月：稲刈り
6月：ホテル見学	11月：まき作りに挑戦
7月：船で海士町を一周しよう！	12月：みかん狩り
8月：星空観察&肝試し大会	1月：餅つき感謝祭
9月：魚釣り大会&イカの一晩干し作り	2月：すず作り・海苔作り



取組を実施して

●子どもたちにとっては地域の大人と交流することで、コミュニケーション能力を養う機会となった他、体験するだけでなく、出かけた地区の事を知るいい機会となった。高齢者にとっても、普段接することが少ない子どもたちと交流することで生き生きとした姿を見ることができたし、持っている知識・技術を伝えることができる場を提供できたことで、生きがいを見出してもらえたのではないかと感じる。また、私たち大人としても知ることもなかった昔のことを高齢者から学ぶことができ、子どもと、大人の双方にメリットがあると実感した。本年度は、事務局から各地区へ一方的に企画の提案を行っていただけであり、地区の意見を聴くことができていなかった。来年度は、地区としてどんなことをさせたいのか声を出していただくことを行っていきたい。「子どもたちにうちの地区でこんなことをさせたい」という思いも持っておられるであろうし、そういった声を拾うことで、よりよい取り組みが出来ると考えている。

「遊びと学びの広場」【隠岐の島町】

(放課後子ども教室)

教室の概要

◇目的・理念

- 地域社会や日々の暮らしの中で育つ子どもたちに安全安心な活動の場を提供する。

◇活動概要

- 実施場所 都万公民館図書室、隠岐の島町役場都万支所前の広場・駐車場
- 開催日 毎週月・木曜日
- 参加対象者および参加人数 都万地区の小学生 1日平均12人参加
- その他

月1回学校に行き、体育館で遊ぶ。【都万っ子元気クラブ、那久っ子元気クラブ】
年に数回程度、「子どもミニ教室」と題して体験活動を開催



広い場所でのびのびと
遊んでいます

特色ある連携の取組内容

- 隠岐の島町役場都万支所の広場・駐車場を借り、広く自由に遊べるようにしている。
- 子どもミニ教室

学校が休みの日を利用して、年に数回、体験活動を行っている。遊びと学びの広場に参加している児童の他、普段は授業やクラブなどで来ることができない中・高学年の児童も多く参加している。

安全管理員が中心となってアイデアを出したり企画を行ったりしている。実施に向けての道具・材料の準備、場所の確保、各機関との連絡などは公民館と一緒にやって行っている。

事 例

ミニ教室「こどもクッキング」

都万地区の食生活改善推進員さん、役場保健師さんと連携して行う「こどもクッキング」を開催。

今年は地区の人以外にも講師として、子どもたちと馴染みのある都万給食センターの栄養士さんにも来て頂いた。

栄養士さんにも積極的に参加してもらい、子どもたちが自分たちでも作れる簡単で美味しいメニューを考えたり、紙芝居を通して「食」の大切さの話をしてもらった。

また推進員さんにも、子どもたちに食材の切り方や味付けの仕方などを指導して頂き、安全安心にクッキングを行うことができた。

平成21年度

子どもミニ教室 活動一覧

- 6月 サンドアートをしよう！
- 7, 8月 夏休み宿題教室
- 11月 秋の夜空を見てみよう！
焼き芋をしてみよう！
- 12月 手すきハガキで年賀状を作ろう！
- 2月 こどもクッキング

～こどもクッキング メニュー～

- お好み焼き風ごはん
- 野菜たっぷりコンソメスープ
- 食パンタルト (デザート)



栄養士による紙芝居

取組を実施して

- 大人も子どもも地域の人の「顔」を知ることが出来る良い機会となった。
- 「食」についての専門家に来てもらったので、安全管理員・公民館で足りない知識・指導を補うことが出来た。特に安全管理の部分では十分に目が行き届いていた。
- 給食センターの栄養士さんに献立を考えてもらったので、さらに子ども向けの楽しいものが作れた。

島田わんぱくクラブ【安来市】

～地域の子どもは地域みんなで育てる～

取組の概要

◇目的・理念

- 異年齢の交流活動、体験学習を通して、青少年の健全育成を図る。
- 地域住民は生涯学習の観点に立ち地域の連帯感を深め生き甲斐に努める。

◇活動概要

- 実施場所：安来市島田交流センター
- 開催日：毎月最終土曜日9：00～12：00
- 参加対象者および参加人数：島田地区内在住の参加可能な親子
- その他：地域支援ボランティア、学生ボランティアの支援で自然体験活動を主体とした活動(竹細工・陶芸・野菜栽培・ハイキング等)



特色ある連携の取組内容

- よりよい人間関係を醸成するため異年齢集団との交流活動をとおして、青少年の健全な自主・自立を目指した学習や体験活動の場を作り、地域の連携を深め、地域に立脚した学習と体験の場を設定し資質の向上をめざしている。
- 島根大学の学生10名が昨年に引き続き、今年度も「地域の支援者」と一緒になってこのクラブの活動を支えている。

平成21年度「わんぱくクラブ」活動

月・日	曜	活動	内容
4/	土	クラブ員募集	新学期が始まってから会員を募集
5/30	土	開所式&野菜の植付け	サツマイモの苗を植えた後自家菜園の管理
6/6	土	看板制作&もぐら脅しづくり	わんぱくハウスの看板づくりとペットボトル細工
7/25	土	夏野菜の収穫祭	バーベキューと星空の観察会
8/21	土	ゴズ釣り大会&中海探検	亀嵩公民館(山間地)との交流会として中海で交流会を実施
8/22	日		
9/26	土	たこを作って上げよう	手作りの凧を大学生と一緒に作る
10/4	日	サツマイモの収穫	芋掘り後、重さ・大きさクイズ大会を実施。
10/24	土	玉峰山ハイキング登山	亀嵩公民館との交流で登山後にソバ打ちも体験
11/28	土	ミニ門松づくり	簡単に作れ、玄関に飾れるミニ門松を制作。この後、この門松を代表者が島根大学学長に贈呈。
12/23	土	クリスマスケーキ作り	手作りのクリスマスケーキを親子で制作
2/27	土	ニュースポーツ体験&修了式	世代交流を実施。修了証書と皆勤賞を贈呈。



看板作り(写真上)と星の観察(写真下)



取組を実施して

- 島田地区は「青少年健全育成活動」の歴史が長く、支援を受けていた子供達が大学生となって支援するようになった。
- 高齢化が進む中で、支援者の輪が広がり、団塊世代が交流活動に参加してくれるようになった。
- 支援者意識を高めるため、子ども達との交流での接し方や意識の持ち方など「スキルアップ講座」を開き研修した。
- ボランティア学生の参加は地域支援者、子ども達に活力を与えた。
- 子供達に学ぶ学生、働く大人の姿、地域での関わり等体験を通じて、将来自分はどうな仕事、地域に貢献できる大人になるかキャリア教育に繋がる仕組み、企画の取り組みが必要である。
- 各事業についてP(PLAN)・D(DO)・C(CHECK)・A(ACTION)を活用した一層資質の高い事業展開に繋げることが必要である。
- 学生ボランティアを取り込み新しい視点で活性化に繋がる取り組みが必要である。

集いの家【江津市】

(放課後子ども教室)

～地域の子どもは地域で育てる～

教室の概要

◇目的・理念

- 学年の違った児童・地域の人達と触れ合うことで多くの豊かな知識を学ぶ。
- 児童が安心して快適に活動でき心豊かな子供に育つようサポートする。

◇活動概要

- 実施場所：民家（江津市二宮町）、二宮公民館
- 開催日：週3～4日、14：00～17：00 不定期で土・日曜日開催
長期休業中も不定期開催 年間約210回開設
- 参加対象者および参加人数：地域の小学生 1日平均8人
登録者数は30人
- その他：子どもの要望に応じて柔軟に開設



特色ある連携の取組内容

- 地域で、子どもの登下校時の見守り隊として活動しながら、放課後の居場所作りを行っており、3人から5人の体制で開設し、地域の民家でアットホームに開設している。
- 原則月・水・金曜日の開催としているが、登下校の見守り時にコミュニケーションをとって放課後子ども教室を開設する場合もある。
- 少人数の子どもでも要望があれば、土・日曜日や長期休業中も開設しており、肌理細やかで、ニーズに合わせた活動を行っている。
- 活動内容としては、宿題をまずやってから、子ども教室の活動に移る。普段は手先を使った遊びや縄跳びなどの軽スポーツ等を行うが、季節に応じたイベントを開催する場合もある。
- 開設に携わるボランティアの年代が幅広く、様々な年代の人と子どもが触れ合う機会を積極的に設けている。また、近くの福祉施設を訪問して、お年寄りとの交流なども取り入れている。



陶芸教室

平成21年度活動内容

- 1) 学習（宿題・予習・復習）
- 2) 遊び（縄跳び・長縄跳び等・フラフープ・ドッジボール）
- 3) ゲーム（トランプ・将棋・オセロ・かるた等）
- 4) お楽しみ会（季節によるおやつ作り及び食事会）
- 5) 体験活動（年二回空き瓶・空き缶拾い 年一回陶芸教室）
- 6) 地域触合い活動（餅つき・お祭・福祉施設への訪問等）



福祉施設への訪問

取組を実施して

- 保護者から安心して仕事ができると、感謝の声をいただいている。
- 地域から、子どもが明るくなったと、喜びの声をいただいた。
- 子どもが自ら進んで行事に参加するようになってきた。
- 学年の違った児童同士のお互いのふれあいを通じて、上級生が下級生の世話をできるようになり、下級生も上級生を慕うようになった。
- 地域の人とのふれあい活動を通して、子ども達に、他人に感謝する気持ちが芽生えた。

平成 21 年度しまねの放課後子どもプラン連携事例集

平成 22 年 4 月

島根県教育庁社会教育課
島根県健康福祉部青少年家庭課

〒690-8502 島根県松江市殿町 1 番地 0852-22-5428
